

消費者市民社会の実現にむけて 無理せず、わたしが楽しく、みんなのためにできること

日時： 2014年9月29日(月) 10:00~12:45

会場： 東京都生協連会館 3階

講師： 萩原なつ子さん(立教大学大学院
21世紀社会デザイン研究科教授)

参加人数 21名

主催 東京都生協連

プログラム
ミニ講義と
ワールド・カフェ



司会： 中根康子さん
(生活サポート生協・東京)

消費者のあり方が第三世代にまでつながることに気づき消費者問題に興味を持つことになった先生の体験や経験から、消費者自身が考えなくてはいけないことは何かなどをミニ講義でお話して頂きました。そのあとで、消費者市民社会の実現にむけて、どういう人達が連携をすれば地域社会の課題を解決できるかを参加者同士がワールド・カフェで話し合いました。

アイスブレイク

まず最初に、初めて会った人同士が気軽に話しあえる雰囲気作りのために、アイスブレイク。ワールド・カフェでは時間管理が大切だということから、与えられた短い時間を上手に使いながらも楽しい雰囲気の場づくりができました。

9マス自己紹介
まんなかになんか自分が今日呼んでほしい名前を記入し、残りの8マスに自分を表す言葉を記入して1分で発表。

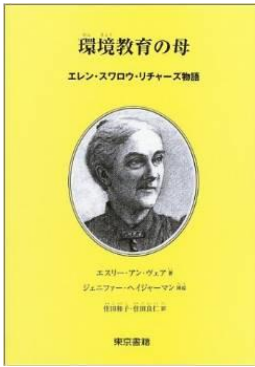
イエス&
「●●さん、最近火星に行ってきたんですって？」というような、相手が想像もつかないような質問を投げかけ、質問された相手は必ず「そうなんですよ！」から答えを返すゲーム。

ミニ講義

覚えておきたいキーワード

- ・消費者市民社会の定義 *世代内公正 *世代間公正 *種間公正
- ・消費者市民力=小さな政策決定
消費者がどのような価値判断で物を選ぶか、環境調和的、社会調和的な商品を選択することで自分の生き方を変え、企業の在り方を変え、政策を変える力。
- ・消費者が変わらないと生産者は変わらない。
フィンランドではお店が環境や社会や未来を考えて商品を提供していたら「キートス(ありがとう)カード」を店に置く。反対にもっと意識してほしい時には「お願いカード」を置く。
- ・環境と調和して生きることのできる人々を明日のために作りだす教育=消費者教育
消費者教育には色々なものがちりばめられている。
- ・みんなで連携してすすめていかないといけないのが消費者教育。→異種異質とつながる
- ・豊かな生活より、正しい生活 消費者として考えなくてはいけないことは未来、次世代
- ・今の環境は未来世代からの借りものである (インディアンのことわざ)
- ・野生動物の住処を脅かさない消費の在り方を考えよう
- ・地球にやさしい取り組みを進めている商品を選ぼう →ダースチョコの裏を見よう

萩原先生がミニ講義で話した人、もの、できごと



島根県 雲南市

「弁当の日」



エレン・スワロウ・リチャード

家政学の母/消費者教育の母/消費者家庭試験研究所設立(1876)

「それいけ! YABO」

1990年に萩原さんが修士論文を本にした作品。有機農業に取り組んでいた日野市のやぼ耕作団とこどものエコロジー。

献立作り、買い出し、調理、弁当詰め、片づけまで全部やるのは子ども自身という企画。全国に広まっている。お弁当だけで消費者教育も環境教育も人間教育も地域教育も出来てしまう。

ワールド・カフェ



ワールド・カフェとは・・・

カフェのようなリラックスした雰囲気の中で、メンバーの組み合わせを変えながら、小人数での話し合いを続けることにより、あたかも参加者全員が話し合っているような効果が得られる対話の手法です。

ワールド・カフェのルール

- ・音楽やお菓子を用意して和やかな雰囲気をつくる。
- ・1テーブルに4人がベスト。
- ・トーキングオブジェクトを使って話す。
- ・ラウンドごとにメンバーが変わる。(一人は残る)
- ・発表、まとめはしない。

ワールド・カフェのエチケット

- ・議論ではなく対話を楽しむ。
- ・自分の事として語る。
- ・お互いに聞きあう。
- ・模造紙はお互いのメモ用紙。
- ・手を挙げたら終わりの合図。

ラウンド1

地域にはどのような課題があるでしょうか？
出された課題から1つ選びましょう

安心して暮らせる地域づくり

ご近所とのつながり

地域の中につながりがない

環境変化に伴う地域のつながりの見つけ方

その課題を解決するためには、どのような連携協働の取り組みが必要でしょうか。

ラウンド2

生協組合員と事業と地域の連携。モニターを通じてまずは顔見知り。仲良くなれば互いに見守り。

自治会や行政との連携。地域の防災訓練の場をコミュニティの1つに地域の中でつなげる。

気付いた者同士が連携する。コミュセンで見守り部隊作り。

生協・行政と地域がつながる。遠くの親戚より近くの知人に頼れる人を見つける。

●参加者の感想

- ・少人数でしたがとても充実した内容で、消費者教育の取り組みのヒントがたくさんありました。
- ・アイスブレイクから講義、ワールドカフェと勉強になりました。活動に活かします。
- ・初めて体験しましたが意見が出しやすかったです。コーヒーもお菓子も good です。
- ・まとめや発表がないというので思いっきり対話に集中できました。